



Governor's Message

未来に向けてロータリーの心と原点を大切に
Back To Basics For Our Future

国際ロータリー第2750地区 2015-16 年度ガバナー

水野 功



昨年7月2日のキックオフから始まった2015-16年度も早いもので、今月末で終えることとなり、ここまで支えて頂いたガバナー補佐各位ほか地区役員の方々、そして何より公式訪問や周年事業にて大変お世話になった各クラブ会長・幹事ほか地区会員の皆様に心から厚く感謝申し上げます。

先月末に開催されたソウルでの国際大会には地区から650名という大勢の方にご登録頂きました。また、ガバナーナイトには姉妹地区第3650地区の金ガバナーご夫妻始め、同期ガバナー、そして600名を越える会員・ご家族にご参加いただき、私も家内も本当に感激しております。この国際大会に向けてご尽力頂いた御手洗国際大会推進委員長を始め、関係各位に厚く御礼申し上げます。

ガバナーを拝命したときから、都合の付く限り出席要請のあった委員会、行事にはすべて出席する強い思いを持ってガバナー一年度に臨みました。お陰さまで、体調を崩すこともなく乗り切ることが出来、心底ほっとしています。PBGでのPETS、公式訪問では、台風の影響や日本では考えられないエアコンディショナーの不備などから幾度か体調を崩しかけたこともありましたが、新しい出会いや地域コミュニティと一体となった奉仕活動を体験することが出来、振り返って見れば有意義で楽しい思い出となりました。

国際協議会にてラビンドランRI会長が今年度のRIテーマ「世界へのプレゼントになろう」を発表される前から、地区の運営方針は「未来に向けてロータリーの心と原点を大切に」と決めていました。理由はいくつかありますが、一番は自分がロータリークラブに入会したときに感じたロータリーの魅力は何であったかを再度思い返し、地区の会員の皆様と考えてみたいという思いでした。次には様々な変化、多くの伝統的あるいは保守的なロータリアンにとって、ある種の墮落、妥協と捉えられているRIの変化について考えてみる必要を感じていたことがありました。公式訪問では、ロータリーにとり変化してはいけないもの、変化してよいもの、変化しなければならな

いものの3つの点から、各クラブにて協議会などで議論して頂きたいとお願い致しました。併せて会員基盤、クラブ基盤の強化にはクラブ例会への出席の重要性和、クラブの多様性に欠かせない職業分類に基づく会員構成の大切さを強調いたしました。また、地区とクラブの関係については、あくまでも主体は各クラブであり、地区組織はすべてクラブサポートが最優先事項であることを前提に、ガバナー補佐各位を縦糸とするなら常設委員会は横糸であり、その両方が調和して機能することを最重視して地区運営にあたりました。各クラブから見ると物足りない点があったかも知れませんが、各役員の方々にはその真意を汲み取って頂き、最大限力を発揮していただけたと思います。

さて、この4月に2016年規定審議会が開催され、地区からは新藤PG(地区規定審議会代表委員)が出席されました。その結果につきましては、次年度の地区研修・協議会にて要点を説明して頂きました。今回の規定審議会では、入会金規定の削除やクラブ例会頻度と出席について、会員身分に関する件など大きな変更が決定されました。最大のトピックスは「柔軟性」という「例外規定」の導入にあり、クラブの裁量権が大幅に拡大されたことにあると考えます。6月初めには地区の戦略委員会での議論を踏まえ、地区としての現時点での考えをクラブ宛て発信いたしました。次年度、クラブでこの採決の結果を踏まえ十分に議論されたうえで、クラブ細則の見直しに着手する必要があります。クラブの裁量権が増すとすることは、クラブの責任も増し、運営能力も大きく問われるのだと思います。各クラブが、良き伝統を踏まえ、より新しく、活性化するために、クラブ独自でお決めいただくことが増えたとお考えください。是非この機会にじっくりとクラブ内で将来像やビジョンを検討、共有頂きたく存じます。また、これを契機として各クラブ、会員一人ひとりが規定審議会への関心を高めていただきたいと思います。RIに対して批判だけするのではなく、クラブがその構成員であり、未来に向けて意見を発信していくことが大事だということを忘れないで頂きたいと考えます。

結びになりますが、この一年間大変お世話になり、素晴らしいロータリーライフを皆様と共有することが出来、再度心から感謝申し上げます。ありがとうございました!

2015-16年度を振り返って

地区代表幹事 本田 誠 (東京飛火野RC)

一昨年に、地区代表幹事を拝命してから2年が経過し、水野功ガバナーの温かいご配慮とご指導の下、地区役員としてお手伝いできました事は、私にとりまして学びの場となりました。特に、坂本俊雄直前ガバナー、榎本又郎直前地区代表幹事、前 國尚 直前地区幹事をはじめ、坂本年度の地区役員の皆様からのご指導に感謝申し上げます。さて、本年は水野

功ガバナーが「未来に向けてロータリーの心と原点を大切に」を地区運営方針に掲げ、地区はクラブのサポート役に徹するとして活動してまいりました。お陰様で、佐久間崇源地区研修リーダー、服部陽子地区研修リーダー補佐のご指導により、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会も終了し、年度の事業が完了できましたことを厚く御礼申し上げます。

2015 - 16 年度を振り返って

千代田グループ ガバナー補佐 中谷 良平 (東京南RC)



2014年の初夏のある日、私はガバナー補佐を受けてもらいたい旨の話を受けました。受ける気持ちのない私は、「考えておきます」と返事をしましたが、それが命令であるということの後日知るところとなり、早速7月より研修です。凄いところへきてしまったと思いながら研修を受け、2015年の1月に千代田グループの第1回のグループ協議会(顔合わせ)を行いました。

研修期間中に水野ガバナーより一冊の本「ロータリーの心と原点」を頂き、ガバナーの基本的な思いを各クラブの会長・幹事の皆さんに共有して頂くため、配布させて頂きました。数回の協議会を重ね、7月よりいよいよ本番です。7月23日の東京サンライズ汐留RCの公式訪問を皮切りに、9月18日までに千代田グループ全てのクラブのガバナー公式訪問に同席させて頂き、水野ガバナーのお考えを勉強させて頂きました。

千代田グループの各クラブと合同の奉仕活動である「みなと区民祭り」に東京芝RCが幹事クラブとして活動頂き、他のクラブがサポートするという形で、期間中は2,000人を超える方が我々のブースを訪れ、盛大に終わることができました。

各クラブも奉仕活動に活発に取り組みられました。東京赤坂RCの奉仕の集い「We are One!! パラリンピ

アンを迎えて」では、東京芝商業高等学校の皆さんと障害者が集い、如何にバリアがあるのかということを感じることができました。東京赤坂RCには、奉仕活動情報交換会にも参加して頂きました。

東京サンライズ汐留RCは、ミクロネシア連邦で婦人科検診の活動を展開されました。

東京みなとRCは、盲導犬キャラバンを展開、盲導犬協会に車両を寄贈されました。

東京南RCは、例年実施している学校法人アジア学院、愛育養護学校への支援を実施されました。

東京レインボー RCは、お台場チャリティマラソン大会を実施し、ロータリー活動のPRに貢献されています。

東京麻布RCは、福島県立盲学校ホノルルスティブロジェクトを実施されました。

東京グローバルRCは、「日英バイリンガル絵本プロジェクト」、「ミャンマーセミナー」に取り組んでおられます。

東京新橋RCは、「上越市柿崎地区の棚田支援」、「港区小中学生環境作文コンクール」、「東日本大震災被災地釜石唐丹小学校支援」を実施されました。

一年間ガバナー補佐として、各クラブの皆さんとお会いし、話し合う中で、多くの経験をさせて頂きました。感謝！感謝！の一年でした。

2015-16 年度を振り返って

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 望月 耕次 (東京日本橋RC)



突然のご指名でまさに青天の霹靂でガバナー補佐を務めることになり、急ごしらえではありましたが、皆様のご支援ご協力のおかげで何とか無事終了できそうです。

今年度は水野ガバナーの「基本に返ろう Back to Basics」のご説明に感動してスタートを切りました。「ロータリーの心と原点」を熟読し、グループの会長にもお読みいただくようお勧めしました。そして多くの方にご賛同いただき、ご理解いただけたのではないかと思います。

今年度の特記事項としては、今まで活動がなかったグループ・フォー・ワン活動でパートナーである、パラオRCの周年行事に多くの方が参加し交流の途がついたこと、そしてSeoul国際大会には公約の800人には及ばないものの、近年にない盛り上がりで大勢の方にご参加いただけました。

ガバナー補佐として二点うれしい経験をいたしました。

第一は、東京あけぼのRC、東京山王RCと新しいクラブが誕生し、それぞれに軌道に乗ってきたことです。

若い方の多い東京あけぼのRCは、その持ち味を十分発揮して奉仕に取り組んでいます。パラオ訪問にも参加していただきました。

東京山王RCは、地区内の行事にも積極的に参加し、初年度から「親睦と奉仕」にしっかりと取り組み、早くも“大人のクラブ”の雰囲気が出てまいりました。

第二は、各クラブが計画された催し物に、グループ内の他クラブが積極的に参加して、相互に盛り上げていただき、交流を深めていただいたことです。

東京中央RCのパラ駅伝、東京日本橋RCのオリンピック・パラリンピック・マラソンコースを歩こう会、東京中央新RCのチャリティ上映会等に多くのクラブからの参加がありました。

11クラブの協力と大勢の皆様のご支援のおかげで、手前味噌になりますが素晴らしい盛り上がりを感じました。ガバナー補佐としてこの1年は感謝の1年であったと実感しております。

2015-16 年度を振り返って

京浜グループ ガバナー補佐 蓮池 攻(東京田園調布RC)



晩秋のある日例会後に先輩ガバナー補佐からの呼び掛けがあり、「君を推薦したのでガバナー補佐を引き受けて」との声を掛けられ暫し当惑し、「他にどなたか」と声を返しはしたのですが、結果親切な先輩の言葉に従い引き受けたのです。

今迄『井の中の蛙大海を知らず』の如く他のクラブの人と深い交流が少ない私には不安がありました。それは自クラブで仲間とロータリーの活動をすることに満足していたのです。「さあ、これからどうしよう」これが本音であります。初めて訪問するクラブ、新しい出逢いのロータリアンと何を語るか胸に不安を秘め私の補佐としてのスタートが始まりました。しかし日頃から若いメンバーと交流が有ったので、躊躇することなく動きの速い有望なグループ幹事に巡り合うことが出来、共に相談をして行動したのです。

スタート前にグループ内の13のクラブに出席をさせて頂き、通常の例会にメイキャップをさせて貰いました。どのクラブも運営に腐心をしていたのに気付きました。7月に入り補佐に課せられて役目を幹事と共に再認識をして国際ロータリーのテーマを共有し、ガバナーの基本方針と考え方を忠実に伝えようと、今迄の会で

話して頂いた内容を15分で話せるメモ帳を作り補佐の訪問に備えました。各クラブ共再度の訪問で和気藹藹の仲となりクラブ協議会も活発に行っていました。その中で隙間見出したことは当然ながら抱えている内容が全く違っていたのです。①増強や退会防止策の方法

②事業の継続や新しい計画への資金や方策 ③青少年奉仕の支援 ④公共イメージの高揚 ⑤ロータリアンとはと基本的な課題が多く感じられました。幸いにしてどのクラブも率直にお話をして下さり、私にとってガバナーの方針を申し上げご理解を頂きました。基本は自クラブの充実です、迷った時は『ロータリーの目的』と『ロータリーの行動規範』に記されているのです。更に本年度のテーマ『世界へのプレゼントになろう』に即し、エンジョイロータリーで楽しみと奉仕を実践する事でロータリーを理解し、自ら奉仕を行い、職を通じて貢献するのです。訪問を終えた後ガバナー訪問はクラブが抱えていた苦心が有りのままガバナーに伝わり、その場で回答をして頂きました。

私が経験したこの期間多くの会長さんや友人に助けられ、今卒業しようとしています。

素晴らしい出逢いがある補佐役に感謝し、再会が更なる友情になる事を祈念し、ロータリーの発展を願っています。

2015-16 年度を振り返って

山の手東グループ ガバナー補佐 加藤 書久(東京西南RC)



山の手東グループ11クラブへの水野 功ガバナーの公式訪問は、既報のとおり、2015年9月1日(火)に、ホテル ニューオータニで、行われました(出席者382名)。

前年度は、ガバナー公式訪問とIMと合同例会の3点セットでしたが、グループ協議会等での協議により、今回は、IMは実施せず、ガバナーの負担軽減も考慮して、昨年同様、ガバナー公式訪問を、合同例会時に実施しました。

ガバナーのお話しも分かり易く、好評で、概ね成功裡に終了、と関係の皆様へ感謝いたしております。

ガバナー補佐、グループ幹事による各クラブのクラブ協議会訪問は、7月7日に始まり、8月18日に全11クラブ終了しました。その際、山の手東グループの慣例により、全11クラブで、ガバナー補佐の例会卓話(演題「基本に返ろう～Back to Basics」)を実施しました。しかし、他のグループでは、ガバナー補佐の卓話は、原則として、全クラブで実施しているグループはない、とも聞いております。

山の手東グループのグループ協議会は、正式には、昨年1月20日に第1回の開催となりました。以後、7月の

休会、9月のガバナー公式訪問月、本年2月の地区大会開催月を除いて、毎月1回開催し、本年4月で、13回の開催となっています。

最初の頃は、9月のガバナー公式訪問関係の議題が多かったのですが、それでも、地区からの講師をお招きして、学習会を開催しました。昨年3月のロータリー財団補助金関係に始まり、広報とMy Rotary、国際奉仕、PBG、本年4月の米山奨学会等々で、RIや地区の方針等を聞かせて頂き、学習しました。この他にも、各クラブの抱える問題点(クラブ財政、会員減少、交換留学生受入れ、等)を、出し合い、解決策を意見交換しました。各会長、幹事さんに、得る所があったならば、幸甚であります。

2月の地区大会は、講演、アトラクションを含め、盛大で、立派な大会でした。当グループからも、ロータリー財団、米山奨学会への寄付で、多くのクラブが受賞したことは、喜ばしいことでした。

この他、大きな行事としては、周年行事が二つありました。昨年10月27日の東京恵比寿RCの20周年(出席者350名)、本年5月23日の東京渋谷RCの15周年(出席者270名)。いずれも、心のこもった、素晴らしい周年行事でした。

2015-16 年度を振り返って

山の手西グループ ガバナー補佐 星野 勇介(東京山の手RC)



山の手西グループに所属するクラブは13クラブでそのうち、Eクラブ、この年度からグループに参加したクラブ、総会員数約480名です。各クラブにはそれぞれ特色があります。その背景、歴史を知るためにはまずクラブ訪問と考え、各クラブに就任前から訪問させていただきました。クラブ相互の連帯感を持っていただく事が出来ないか、そこで思いついたのがIMのテーマでした。

水野ガバナー年度に入りオリンピック・パラリンピックの支援活動が叫ばれるようになりました。そこでテーマを「パラリンピアンに心を寄せてすべての人にスポーツを！」決めました。講演と実技を車椅子シドニー・オリンピック選手でアスリートネットワーク 根木慎志



さんを東京恵比寿RC 橋高薫子さん、杉並ロータリークラブ 大橋吉隆さんにご紹介いただきました。そして日程を11月16日(月)に決めました。当日の参加会員210名あまり。根木さんの心打つスピーチに感動成功裏に終了、安堵いたしました。

IMを終了すると、年度の終わりを感ぜさせますが、山の手西グループでは、グループ協議会でお伝え出来なかった事を「山の手西グループだより」を各クラブに配信させていただきました。

なりよりも心残りはmyrotaryの普及が思いの外、すみませんでした。ITアレルギーの方が多くおいでになる。クラブ会長・幹事の皆様にはご苦勞をお掛けしました。2月23日24日の地区大会でPBGグループフォアワンのボンペイロータリークラブとの交歓、高橋PG補佐年度の支援活動が完成間近の報告をいただきました。ソウル国際大会では西グループから65名の参加、米山学友懇親会inseoul西グループの米山友愛クラブから多くの参加会員、盛大だったガバナーナイト最後に何よりもグループ活動をご支援いただいた会長・幹事・会員の皆様に感謝申し上げます。

2015-16 年度を振り返って

多摩南グループ ガバナー補佐 井村 廣巳(東京日野RC)



2016年5月25日 東京八王子南RCの30周年記念式典が盛大に執り行われ、多摩南グループ内の行事予定は、6月8日 第6回グループ協議会を残すのみとなりました。

スタートは2014年12月15日の第1回グループ協議会 会長会でした。初顔合わせということで私をはじめ各会長さんも少し緊張の面持ちでスタートしましたが自己紹介も終わり懇親会に入ると打ち解けて話も弾むようになりました。

2015年2月18日に第2回のグループ協議会を開催しましたが顔とお名前が一致するようになり、スタートから打ち解けた雰囲気でした。無理にでも前年に第1回を開いて良かったと実感しました。IMの実施が決まりました。

3月26日・27日のPETSでは、多摩南グループとしての仲間意識が既にできていたように思います。

4月に入ると10日には第1回IM実行委員会、15日には第3回のグループ協議会が開催され、水野年度多摩南グループの主要メンバーが揃いました。メンバー全員「良い年度」、「楽しい年度」にしようという気持ちは一つでした。

5月も25日にIM実行委員会、27日 第4回グループ協議会が開催され、IMはテーマが検討され、グループ協議会では次年度に向けての各クラブの進捗状況が報告され、安心されるクラブ慌てるクラブ様々でしたが、互いに参考になった協議会でした。

7月第1週は、町田4クラブ表敬訪問、第2週～3週は、日野2クラブ、八王子5クラブの表敬訪問でした。町田では4クラブの相互訪問で全会長と毎日一緒に、八王子訪問も相互訪問で全会長

と毎日一緒でした。この3週間で全ての会長さんと一気に距離が縮まった気がします。

8月は、26日のグループ協議会では、年度スタートの状況が報告され、兎にも角にも各クラブ新年度がスタートした事で一暢にホットされているのが伝わってきました。

9月は、クラブ協議会の月でした。10月は、ガバナー公式訪問の月で、13日東京八王子東RC・東京八王子北RCの合同ガバナー公式訪問で終了しました。水野ガバナーのご苦勞が少しばかり分りました。

次はいよいよIMです。11月11日 実施に向け、10月27日に実行委員会で内容の確認、29日には会場でリハーサルが行われました。各クラブが他クラブの内容をみて刺激を受けたようです。

11月11日当日は、グループ全員470人のところ地区役員会を含め、350人程の参加をいただき盛況のうちに終了致しました。

図らずもご好評をいただき、実行委員はじめグループ全体で喜びました。年度初めの「良い年度」、「楽しい年度」にしたいという皆の思いが1つ形になった気がしました。

年が明け2016年になれば、2月23日・24日の地区大会です。

Group For Oneで、東京八王子南RCがサイパンRCとの共同事業を発表されました。また 東京町田・中RCの西村会長がRI職業奉仕リーダーシップ賞を受賞された事は多摩南グループの誇りとすると所です。地区大会は大成功大盛況で「良い年度」、「楽しい年度」がまた1つ形になりました。

4月20日 東京日野RC 50周年、5月21日 東京八王子西RC 50周年が無事終了し国際大会を残しホットしている今日この頃です。

2015-16 年度を振り返って

多摩中グループ ガバナー補佐 宮崎 陽市郎 (東京三鷹RC)



ラビンドランRI会長の「Pay forward」「恩送り」という言葉に衝撃を受けました。なぜなら私がロータリークラブに入ろうと思った「心の原点」だったからです。

水野ガバナーから頂戴した廣畑富雄さん著作「ロータリーの心と原点」を一気に読み終え、水野ガバナーの地区テーマを理解することができました。私はすぐにこの本を30冊購入し多摩中グループの会長・幹事さんに配りました。この本を読んでいただくことが、水野ガバナーの地区テーマを正確に伝えることができると確信したからです。

今年度の規定審議会では、様々な改定が行われました。クラブの裁量権がより大きくなった今、友情を求めてロータリークラブを始めたポール・ハリスの心と原点を知ったうえで、「変えていいもの」、「変えてはいけないもの」、「変えなければいけないもの」この三つを実践しなければならないと思います。

多摩中グループでは、年度が始まってすぐにクラブ表敬訪問、ガバナー公式訪問前のクラブ協議会、ガバナー公式訪問同行、年度最後の表敬訪問と、4回のクラブ訪問が恒例となっています。クラブ訪問は私にとって素晴らしい経験になりました。クラブ会長・幹事様、並びにクラブの皆

様の好意と友情に心より感謝いたします。私の力不足で、My Rotaryの登録は思ったほど結果が残せなかったことは大変残念でなりません。次年度の鈴木ガバナー補佐にしっかりと引き継ぎをいたします。

多摩中グループでは、PETS・地区大会・グループ協議会後は、毎回2次会を開催し、大勢の会長・幹事の皆様、又、多摩中グループ所属の地区役員の方々にも多数参加いただきました。大変「仲」がいい「多摩中(仲)グループ」になったと自負しております。

11月に行ったIMは、国際基督教大学「ロータリー平和センター」にスポットをあて、大会テーマ「LOVE & PEACE」を掲げ、300人以上の登録を頂き盛大に開催することができました。各クラブの会長・幹事の皆様、ホストクラブの東京三鷹RCの皆様にご心より感謝申し上げます。

佐久間研修リーダー、服部副研修リーダー、地区役員の皆様の御指導のおかげで、1年間大役を無事務めることができました。敬愛する水野ガバナーのもとでロータリー活動ができましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。特に同期のガバナー補佐の方々とは、かけがえのない「絆」が生まれたと思っています。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

2015-16 年度を振り返って

多摩東グループ ガバナー補佐 中野 陽一 (東京たまがわRC)



ガバナー補佐就任の命を受けたのは、クラブ創設以来25年間クラブや諸先輩から受けた御恩を少しでもお返し出来たら、との思いでした。

年度開始前のガバナー補佐研修では、多くのことを学び、三大研修では同輩の方々の熱意に触れ、心強い思いで就任いたしました。

多摩東グループのグループ協議会は、クラブ会長の顔合わせ会をはじめ、6回実施し、各クラブの会長・幹事各位からはクラブ運営に対する並々ならぬ意欲を目の当たりにしました。

ガバナー公式訪問に先立つクラブ協議会では、各クラブの事業の進捗状況についての議論やクラブ運営に関する討論が行われ、真摯な希望と熱意に打たれました。

ガバナー公式訪問では、各クラブの会員の心のこもった歓迎を受け、その活力を間近に感じさせていただきました。

多摩東グループのインターシティーミーティングは2016年4月13日に調布市文化会館 たづくりにて開催いたしました。

本会議では、「新世代へ熱きエール —5市の絆」と題し、各クラブには地域社会で青少年に対する心のこもった支援事業を、映像を利用し発表していただきました。

また懇親会では、アトラクションとしてグループ内のクラブ会員による演奏が行われ、図らずもグループを挙げて手作りのインターシティーミーティング実現し、グループの10クラブの結束を強化し絆を深めることができたと思います。

本年は規定審議会で行くつかの重要な制定案が決定し、今後のクラブ運営について真剣に考えねばならなくなりました。クラブの未来を考える良い機会であると思います。クラブの発展を考え事業を行い、運営について会員の意識を高めることを望みます。

会員委員会は、会員増強と会員維持を柱に、クラブの基盤強化と活性化のお手伝いをするというコンセプトで活動を開始しました。クラブの活性化には例会の充実が不可欠で、例会時間の半分を占めている卓話の講師と内容は重要であるという分析に基づき、最新の派遣可能な卓話講師のリスト作りに着手しました。早速国内91クラブに協力を依頼し、卓話者の推薦をお願いしました。各ガバナー補佐の協力も頂き、2015年年末には91クラブ中56クラブより回答を頂き、内29クラブより78名の講師を推薦頂く事が出来ました。委員会でクラブ別、項目別に仕分けし印刷し、2月の地区大会で各クラブの会長に配布し、同時にクラブ事務局にデータを送信しました。是非有効に活用して頂きたいと思えます。

また、2015年8月6日 東京調布むらさきRCを皮切りに、2016年4月4日東京六本木RCまで計12クラブで会員増強・維持の卓話を行いました。またその間8グループ協議会を訪問し、会員基盤の強化とクラブの活性化について話をさせて頂きました。関係者並びに訪問クラブの皆様に感謝を申し上げます。

2015年9月17日には、ハイアットリージェンシー東京で地区会員増強セミナーを開催しました。水野ガバナー、辰野第1, 2, 3ゾーン会員増強プロジェクトリーダーの力強いご挨拶で始まり、ロータリーを分かり易くまとめたDVD「ようこそロータリーへ」の上映し、続いて鈴木隆志 地区幹事の進行で、5常設委員長がパネラーと

して、「ロータリーの魅力を会員増強へ」というテーマでパネルディスカッションを行いました。担当の委員会の視点でそれぞれ語って頂いた提言は、参加者に大きな参考となりました。その後、会員増強委員長が成功事例を交えた増強の手法や増強グッズを紹介し、会員維持委員長が現有勢力データや会員基盤強化の為のアンケートの結果を発表しました。また、衛星クラブについての説明が、東京多摩せいせきロータリー衛星クラブの会員から行われ、ロータリアンの新しいスタイルが紹介されました。当日は160名の参加があり、今回の参加型のセミナーは最後まで中座される会員も少なく、あっという間の3時間でした。このセミナーで放映された「ようこそロータリーへ」のDVDをリニューアルし、2016年6月14日の地区会長・幹事会で各クラブに1枚ずつ贈呈予定です。新会員の勧誘や教育に役立てて頂ければ幸いです。

最後に、各クラブ及び2750地区の会員数の動向と出席率は、毎月ガバナー月信で紹介されていますので、各クラブの役員の方は参考にして頂きたいと思えます。水野ガバナーの当初の目標である5%純増250名にはまだ到達していませんが、もう一つの目標である34地区で最大の会員数は、2016年4月末に達成されました。今後とも退会防止に努め、新たなロータリアンの獲得に励み、クラブの基盤強化と活性化を図って頂くようお願いいたします。



奉仕プログラム委員会 2015-16 年度を振り返って

奉仕プログラム委員会 委員長 松本 啓祐 (東京八王子RC)

「人間性を強化するものはとりわけ経験なのである」。
「このように一人一人は、自ら燃え立つことによって自分の周囲が暗くなることを防ぐ光に似ている。」

(エルンスト・ユンガー 追悼の政治)

良い仲間恵まれ、活動を展開することが出来た。クラブと地区でご協力をいただいた皆様に感謝！

主な活動

1) 情報交換会

2015年11月9日に赤坂区民ホールにて国際奉仕委員会を中心に奉仕プログラム各委員会が実施した。登録者158名、出席者160名前後。費用は会場利用料とコピー代のみ。映像を主体とした事例発表を行うとともに2016年1月25日開催の廣畑富雄氏の講演で職業奉仕をさらに深く考えるべく、奉仕に関してのフリーディスカッションを行った。フリーディスカッションでは、会場よりさらなる活動の報告もありそれらを基に活発な意見交換が行われた。30分という短い時間であったが、参加者全員で奉仕のあり方を考えることのできた内容の濃いものとなった。



2) 定期的にそれぞれの委員会を開催

3) 情報の提供と対話

グループでの説明会やクラブでの卓話に委員が赴き、奉仕への関心を惹起し、意欲的な取り組みを遂行した。

4) 国際親善活動

- ・ 日韓短期青少年交換の実施
日韓 4名ずつ。交換活動の成果を実感。
- ・ 韓国地区大会参加者取りまとめ
- ・ 国際親善事業参加者取りまとめ
- ・ 地区大会での韓国代表団歓迎会運営



5) アンケート実施

- 職業奉仕 (職業奉仕委員会)
- 海外との姉妹クラブ締結状況 (国際親善委員会)
- 聞き取り調査 (国際・地域社会奉仕委員会)

6) 職業奉仕講演会

2016年1月25日15時より、会長・幹事会に先立ち、「ロータリーの心と原点」をテーマに開催。講師は第2700地区の廣畑富雄PG。ロータリーの原点を見直す貴重な機会となった。

7) 「希望の風奨学金」

地区青少年奉仕委員会との協力の下に募金を募った。

8) 熊本大震災救援

募金活動を行った。
5月現在の募金総額はおよそ950万円

何時の時代でも、どの国でも、どこの家庭でも、次の時代を担う後継者の育成・新世代の育成は極めて重要であると、皆が認識している。地域のロータリークラブは早くから会員の子弟や地域の青少年を立派に育てる為の奉仕活動に熱心に取り組んできた。

2750地区では、区部と市部で、各クラブはそれぞれの特長を生かして、青少年・新世代を育てる奉仕活動を積極的にを行い、地区青少年奉仕委員会は、クラブの奉仕活動を全力で応援してきた。今年度も五つの委員会が、クラブの期待に沿うべく以下の活動を進めた。

地区インターアクト委員会は坂山浩二委員長(東京昭島RC)を中心に、提唱RCのインターアクト委員長や各インターアクトクラブの顧問教師と連携を取り乍ら活動を進めた。

中でも8月開催のインターアクト地区年次大会には中国・上海インターアクトクラブの参加が実現して国際色豊かな幅広いインターアクターの交流が図られた。特筆されよう。

地区ローターアクト委員会は竹村慎治委員長(東京渋谷RC)を中心に、地区委員とローターアクト地区代表達が毎月合同の委員会を開き連携を密にして彼らの活動を支援した。また、提唱RCのローターアクト委員長の参加を得て、近年開催がなかったクラブローターアクト委員長セミナーを開き、提唱クラブが感じているローターアクトクラブ支援の難しさ・現状や問題点などを率直に語り合い、提唱RCの奉仕活動について地区は如何に支援すべきかを研究した。

青少年交換プログラムには、地区青少年交換委員会(品川博美委員長・東京西RC)が積極的に取り組み、今年度から交換生も8名から10名に増えて委員会は熱き

心で高校生に指導や研修を進め、小さな親善大使を大きく育て上げている。海外の治安不安定地域対策は人命安全第一で取り組んでいる。ホストクラブやホストファミリーが青少年交換の奉仕活動を取り組み易いようにハード面やソフト面で細心の注意を払っており、地区青少年交換委員会の献身的な活動は関係者から高い評価を得ている。青少年交換事業の重要性は今後益々高まると思う。

RYLA委員会(井上象英委員長・東京恵比寿RC)は、リーダーシップを磨く指導者講座として、2泊3日のRYLAセミナーを毎年秋に開催する。一流の講師陣の指導の下、受講生同士の強い刺激も受けて、20~30歳の受講生はセミナー終了時には、人が全く変わって一回りも二回りも大きく成長する。受講生達は受講して良かった、企業側からは参加させて良かったとの、感想。ロータリアン子弟・ロータリアン事業所社員・青年層の積極的な参加を期待します。

高校生の職業体験授業の支援を地区インターンシップ委員会(植村敏明委員長・東京城西RC)が、東京都教育庁・高校・インターンシップ生受け入れ事業所間の仲介と調整役を務め、高校生が職業観を磨き人間性を鍛える奉仕活動を計画的に熱心に進めた。参加高校生やご家族・学校の周辺地域から感謝の言葉が多く寄せられた。正に高い職業倫理観と奉仕の精神を持つロータリアンに最適の奉仕活動であり多くのロータリアンに参加をお進めしたい。

青少年奉仕委員会の活動は、各委員会とも派手なパフォーマンスはないが着実に青少年が育つ奉仕活動であり、活動参加のロータリークラブに敬意を表し身近な奉仕活動に誇りが生まれる。

ロータリークラブHP・印刷資料作成のガイドライン作成



各クラブに5部配布。
〈内容〉
・ My Rotaryの登録方法
・ ロゴ・色彩・フォントの使い方
・ クラブHPの構成

ロータリーロゴ入り地区の手旗作成



各クラブに2旗配布。
奉仕活動に使用し、ロータリーの公共イメージの向上を図る。

ロータリー写真コンテスト実施



地区HPより応募し、各クラブの奉仕活動を対外的に発表し、ロータリーをアピールする為の事業。

パラリンピック支援活動



クラブが実施するパラリンピック支援活動に、広報グッズを提供しイメージアップを図る。

My Rotary 活用の推進

広報基礎セミナーを実施し、クラブリーダーや広報・IT担当会員に、My Rotary登録、ロータリー・クラブセントラル、ブランドリソースセンター、ロータリーショーケース等、My Rotaryの「役立つツール」の解説を実施。

三年前(2013-14)スタートした未来の夢計画も本年度は、安心して迎えることが出来ました。クラブからの補助金申請も48件の承認をさせて頂き会員の皆様には、年次基金(地区補助金)の活用がクラブ奉仕事業に欠かせない基金である事を浸透した年ではないでしょうか。

一方、為替変動に翻弄された1年でもあります。資金推進委員会では前年度以上に皆様からのご協力を頂こうと、寄付のお願いを致してまいりました。結果的には、ほぼ前年と同額のドル(\$)ベースとなりましたが、日本円換算では大幅に寄付額を延ばす事が出来ました。

地区ロータリー財団は6つのプログラムがありますが、最も大きく飛躍したプログラムに奨学・学友VTT委員会があります。「ロータリー国際奨学生」の派遣があります。此の「未来の夢計画」がスタートしてから3年間で世界No.1の奨学生数を派遣する事が出来ました。この奨学生制度は、ロータリー財団の中でも大変歴史あるプログラムの一つです。世界平和に貢献する奨学生には、「世界平和フェローシップ」のOBも同様です。世界中の紛争地帯には、必ず「ロータリー奨学生」「平和フェローシップ」のOBが活躍しています。これらの派遣奨学生が帰国後に入会を義務付けられているのが「ロータリー財団学友会」です。

本年度は第4回目の総会を開催することが出来ました。4年前迄は第2580地区の学友会に参加させて頂いておりましたが、今では「第2750地区学友会」として奨学生の選考のお手伝いをして頂いたり派遣先のロー

タリークラブへのコンタクトを取ったりロータリアンと共に学友会の活躍は、奨学委員会には、無くてはならない存在です。いつ終了するのか、いつ撲滅出来るか、ポリオ撲滅運動に本年も、100クラブの皆様方と共に戦ってまいりました。毎年恒例となってきた、ポリオチャリティーコンサートでは、本年度ジュディオング氏をお迎えし、大成功で終わることが出来ました。ポリオ撲滅の恒例チャリティーではポリオチャリティーゴルフやポリオ撲滅企業支援など多くの方々に本年もご参加頂きました。

真実かどうか、皆に公平か、好意と友情を深めるか、皆のためになるかどうか、四つのテストを委員会の柱として財団管理委員会は、皆様から頂いた「浄財/寄付」を管理させて頂いておりますが、年々補助金の使用先ミスも少なくなりクラブの皆様が安心して奉仕事業に参加して頂くようになりました。

さて、私事では有りますが本年度でロータリー財団とお別れをさせて頂きます。皆様と共に奉仕の旅に出発してから5年、多くの方と出会い多くの思い出を頂く事が出来ました。東日本大震災では皆様と共に沢山の涙を流しました。こんな素敵な思い出を頂いた一年でした。

終わりに、次年度も引き続きロータリー財団にご支援をお願い致します。



米山記念奨学委員会 2015 - 16 年度を振り返って

米山記念奨学委員会 委員長 三浦 眞一 (東京八王子西RC)

米山奨学生と学友が大きな輪を作り、大きな声で「世界にひとつだけの花」を歌ってくれました。その後、米山記念奨学委員会の委員も輪の中に入り、みんなで手をつなぎ、声を合わせて「手に手つないで」を合唱しました。そこには人種の違いも、肌の色の違いもありません。そして共通の言葉は日本語でした。米山記念奨学基金を創った先輩ロータリアンの皆さんは、天国からその情景を見て下さってしょうか。

ロータリーがめざす「世界平和と国際理解に寄与する」を具現化するために、将来日本と世界を結ぶ懸け橋となり、ロータリーの理念と運動の良き理解者として、国際社会で活躍する人材を育成する、日本における民間最大の奨学基金を運営する米山記念奨学委員会は、米山選考・米山推進・米山学友の三委員会構成され、企画・立案はそれぞれの委員会が担当し、事業の実施は全ての委員が参加をして行った一年でした。

米山選考委員会は、佐藤剛 委員長のもと指定校への説明会を実施すると共に、クラブ委員長セミナー・カウンセラーセミナーの開催、新たな奨学生の面接試験を実施し、米山奨学基金の最大の特徴である世話クラブとカウンセラーの決定を行いました。また、奨学期間修了者の歓送会と新たに合格した奨学生へのオリエンテーションと歓迎会を実施し、米山奨学生には、日本での過ごし方や奨学期間終了後の役割を理解していただくと共に、世話クラブやカウンセラーの皆様には、米山奨学制度の在り方を深く理解していただきました。

米山推進委員会は、江川明裕 委員長のもと10月の米山月間のみならず、1年を通じて奨学生・学友の卓話の実施を行うと共に、多くの委員が寄付金をお願いするためと米山記念奨学基金の意義を多くの会員にご理解していただくために、地区内のクラブを訪問し卓話を行いました。その結果、年初来の目標でありました「1億円」の寄付目標を達成すると共に、ロータリアンの皆様に米山記念奨学



基金の必要性と重要性をご理解していただくことができました。

米山学友委員会は、萩原道雄 委員長のもと明治記念館での夏の納涼懇親会を開催し、水野ガバナー以下多くのロータリアンにも浴衣でご参加いただきました。秋の一泊研修では、米山梅吉記念館を訪問すると共に、日本の仏教文化を体験し、参加した奨学生・学友には日本の歴史の一端、現在の日本・日本人を理解していただくことができました。冬の懇親会では、奨学生・学友・ロータリアンが親睦を深め、今後の活動を確認し合う場となりました。そして新たな奨学生を迎えた5月には、バーベキュー大会を開催し、学友・ロータリアンとの絆を深めていただきました。東京米山友愛RCとの合同事業として、都立小平高校の生徒と奨学生・学友との国際交流会の開催し、東京山の手RCの30周年記念事業として米山奨学生弁論大会を開催していただき、東京世田谷RCの45周年記念事業として、東京都市大学等々力高校の生徒との国際交流会など、各クラブとの協同事業も積極的に実施していただきました。

1年間を通じて米山奨学生・学友・委員会メンバー・各クラブの会員のご協力に支えられ、多くの事業を実施いたしました。本年度最大の成果は、水野ガバナーのご指導と米山奨学会のご理解のもと「第2750地区 東京学友会」を設立することができた事にあると思います。今後2750地区の全会員・全クラブのご加護をいただきながら、この学友会が成長していくことを夢に描いて本年度の米山記念奨学委員会のご報告とさせていただきます。



ソウル国際大会報告

ガバナー月信・年次報告委員会 副委員長 石井 義興(東京恵比寿RC)

2016年5月28日から6月1日まで、ソウルで今年度の国際大会が開催されました。世界から4万人以上、2750地区からは約700名の参加者が集いました。ここでは本会議、友愛の家、ガバナー・ナイトについてご報告いたします。

国際大会プログラムは大きく分けて3つから構成されています。

- ・ 青少年交換役員関連の委員会 プレ・カンファレンス 5月27日
- ・ 友愛の家 5月28日から6月1日まで 9:00～18:00
- ・ 会 議 5月29日から6月1日まで

A. 本会議と分科会

5月29日 開会式「韓国で世界とつながろう」 9:45～17:45
午前 世界からの参加者のための開会式(第1回)
午後 韓国からの参加者のための開会式(第2回)
夜 エンターテインメント 21時半まで(チケット制)

5月30日 本会議と分科会 9:45～17:00
午前 第2回本会議「発見の旅」
ラビンドランRI会長、ヒューコ事務総長他
会長主催昼食会(チケット制)
午後 分科会 13:00～17:00 パラレル・セッションで43分科会
夜 エンターテインメント 21時まで(チケット制)

5月31日 本会議と分科会 9:45～17:00
午前 第3回本会議「数々の達成」クリンギンスミス財団委員長他
午後 分科会 13:00～17:00 パラレル・セッションで41分科会
15:30～16:15 ロータリービジネスセッション
ラビンドラン、ヒューコ

夜 メジャードナーレセプション(招待制)、
アーチ・クランフ晩餐会(招待制)

6月1日 本会議と分科会 9:45～16:30
午前 第4回本会議「世界へのプレゼントになるう」
午後 アトランタ大会昼食会(チケット制)
分科会 13:00～16:30 パラレル・セッションで21分科会
夜 閉会式「つながりと継続性」 17:00～19:00
ラビンドラン会長、ジョン・ジャームRI会長エレクト
エンターテインメント

この大会は韓国側の強い意気込みを感じる大会でした。開会式にはパン・ギムン国連事務総長、ファン・キョアン韓国首相のスピーチも行われました。特にパン・ギムン事務総長は「国連の目的とロータリーの目的が同じ面を持っている事」を強調され「ポリオ撲滅のために、RIが長きに渡り努力している事」を称賛されました。



ソウル国際大会報告

開会式は太鼓の演奏で始まり、韓国の踊り、テコンドーをアレンジした、すばらしいダンスと続きました。恒例の各国の国旗の入場では、日本と台湾、そして米国の国旗入場の時は大歓声が上がりました。その後、ラビンドランRI会長にエスコートされ、パン・ギムン国連事務総長が登場いたしました。これはプログラムには載っていないハプニングで、参加者は大きな拍手でお迎え致しました。

その後は、二人(イアン・ライズリー、小沢一彦の両氏)の国際大会共同委員長の司会で、開会式は進みましたが、司会はライズリー氏、開会の点鐘は小沢氏が行いました。ウィクラマシンハ、スリランカ首相の「発展途上国と先進国における奉仕団体の役割」と題する講演が行われ、さらに、ラビンドラン会長のご家族の紹介、歓迎の辞が述べられました。ここで会議は終了しましたが、続いて韓国で有名な女性シンガーの歌で開会式は締めくくられました。この歌手は私が知っている人ではありませんでしたが、多分有名な歌手だと思えます。「おっかけ」と思われる若い男性たちが通路の前にたむろして、写真を撮っていましたが、SAAに追い払われました。すばらしい歌でした。

今回は3日間に渡り105個に及ぶ分科会が開かれましたが、日本語での分科会や、日本語の通訳付き分科会も行われました。日本語のものは東日本大震災に関連した「9.11から3.11」、米山関連、そして「未来の日韓関係」などです。多くの分科会にも日本人の参加が望まれています。

次年度アトランタ国際大会は、ロータリー財団の100周年に当たります。ロータリー財団は100年前アトランタで設立が宣言されました。ちょうど100年目にまたアトランタで国際大会が開催されますが、これを記念しているいろいろな企画が計画されています。その内容が5月31日の本会議でクリンギンスミス委員長より報告されました。



The
Rotary
Foundation



ソウル国際大会報告

B. 友愛の家

友愛の家とは地区大会の「友愛の広場」の大規模なものです。今年は昨年サンパウロと比較して、非常に大規模でした。全景は写真をご覧ください。

5月28日12時にオープンしました。古楽器で隊列を組んだ韓国風マーチング・バンドが会場を練り歩き、開場を告げました。380にも及ぶブース展示がありましたが、これらはクラブや地区の奉仕活動の報告、災害用シェルターの展示、次年度アトランタ国際大会のPRおよび参加申込みブース、沢山の商品販売ブース、および財団100周年を記念する本の展示販売と著者によるサイン会、RIからのリソース展示などです。日本からは米山奨学会のブース、広島ブースなどがありました。

販売されている商品は、ロータリー関連グッズだけでなく、朝鮮ニンジン、化粧品、衣類、絵など多岐にわたるもので、多くのロータリアンがそこで買い物をしていました。

このようにロータリアンでごった返す会場で、毎日10時から夕方まで沢山のエンターテインメントが友愛の家でも開かれていましたが、これだけでも十分楽しめるものでした。



ソウル国際大会報告

C. ガバナー・ナイト

国際大会では恒例になりました、第2750地区のガバナー・ナイトは、5月29日午後7時から、ロッテホテル2階のボールルームで開催されました。主催者の水野功ガバナーのお話では640名の方々のご参加との事でした。

この会には韓国姉妹地区、第3650地区からガバナーご夫妻をはじめ多くのロータリアンの皆様に参加され、国内からは、水野ガバナーと同期のガバナーご夫妻を中心に、多数のご出席を賜りました。

第2750地区国際大会推進委員長の御手洗美智子委員長の司会で、韓国国立国楽管弦楽団の「アリラン」の演奏で幕を開けました。ご来賓として第3650地区、金道熱ガバナーのご挨拶(通訳は米山OB)に続き、韓国のクラブと姉妹関係を結んでいる第2750地区内のクラブと相手側の韓国クラブ、双方の表彰が行われました。

市川伊三夫RIソウル国際大会推進委員のご発声によりシャンパンで乾杯し、食事がスタート致しましたが、素晴らしいフレンチのフルコースでした。食事後は、第2部として韓国国立国楽管弦楽団の演奏で、昔の韓国の音楽だけでなく、現代の音楽を含め4曲の演奏が行われ、9時半ごろ終宴致しました。良く準備された宴会で、さぞ、準備に当たられた委員会の皆様、大変なご苦労があったことと推測されます。ありがとうございました。



米山功労者ご紹介

ご協力感谢您いたします

| | | | |
|---------|----------|------------|----|
| 木谷 孟君 | 東京芝 | 2016.04.07 | 14 |
| 松田 禮子君 | 東京世田谷南 | 2016.04.13 | 10 |
| 堀口 智顕君 | 東京銀座 | 2016.04.14 | 3 |
| 小林 義明君 | 東京三鷹 | 2016.04.15 | 1 |
| 平野 準君 | 東京世田谷 | 2016.04.21 | 1 |
| 小川 勝彦君 | 東京たまがわ | 2016.04.21 | 1 |
| 小林 喜久代君 | 東京たまがわ | 2016.04.21 | 4 |
| 森田 彰君 | 東京たまがわ | 2016.04.21 | 1 |
| 福平 良全君 | 東京小金井さくら | 2016.04.22 | 1 |
| 熊本 誠司君 | 東京赤坂 | 2016.04.26 | 5 |
| 内山 肇君 | 東京国立白うめ | 2016.04.27 | 1 |
| 宮川 正雄君 | 東京田園調布緑 | 2016.04.28 | 11 |
| 渡邊 勝司君 | 東京田園調布緑 | 2016.04.28 | 1 |

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力感谢您いたします

| | | |
|-----------|---------|-------|
| ◎ 武藤 英正君 | 東京世田谷南 | 4月7日 |
| ◎ 鈴木 明彦君 | 東京世田谷南 | 4月7日 |
| 竹内 政司君 | 東京井の頭 | 4月7日 |
| ◎ 篠原 准君 | 東京井の頭 | 4月7日 |
| 今藤 貫徳君 | 東京昭島中央 | 4月8日 |
| ◎ 堀口 智顕君 | 東京銀座 | 4月15日 |
| ◎ 渡邊 信義君 | 東京昭島中央 | 4月21日 |
| ◎ 藤原 健次君 | 東京たまがわ | 4月21日 |
| ◎ 伊藤 正文君 | 東京たまがわ | 4月21日 |
| ◎ 小林 喜久代君 | 東京たまがわ | 4月21日 |
| ◎ 山田 充宏君 | 東京世田谷 | 4月22日 |
| ◎ 吉野 良助君 | 東京三鷹 | 4月22日 |
| ◎ 金澤 昇君 | 東京武蔵国分寺 | 4月22日 |
| 川口 幸一郎君 | 東京銀座 | 4月27日 |
| 川村 竜司君 | 東京西 | 4月27日 |
| 荻野 健司君 | 東京西 | 4月27日 |
| 佐々木 伸君 | 東京西 | 4月27日 |
| ◎ 濃畑 雄四郎君 | 東京武蔵府中 | 4月27日 |
| ◎ 板敷 歡成君 | 東京田園調布緑 | 4月28日 |
| 宮村 和加子君 | 東京広尾 | 4月28日 |

文庫通信 (344号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 4 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

◎「Rotary Magic」

江崎柳節 2016 12p (D.2710月信地区大会特集号)

◎「ロータリーにおける意志と信頼」

ビチャイ・ラタクル D.2550 2015 43p
(D.2550地区大会記念講演)

◎「ポール・ハリスとロータリー」

諏訪昭登 2016 7p

◎「入り手学ぶ奉仕の心」

安孫子貞夫 2016 4p (D.2800月信)

◎「ロータリーは円形ではない。楕円形である。」

塚原房樹 2016 1p (D.2510 月信)

◎「転轍手待望論」

塚原房樹 2016 2p (D.2510 月信)

◎「クラブ定款は自分のクラブ独自のものか？」

櫻木英一郎 2016 1p (D.2790 月信)

◎「ロータリーの目的 その1~4」

深川純一 2015 4p(純ちゃんのコーナー Part X IV)

◎「決議23-34」

東大阪みどりR.C. 2016 2p (ロータリーの歴史に学ぶ)

上記申込先：ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館

午前 10 時~午後 5 時
休館
土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



田中 睦男 (東京八王子西RC)

2015年1月28日逝去(享年75歳)
1978年9月1日入会
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



栗林 貞一 (東京南RC)

2016年3月2日逝去(享年83歳)
1993年9月9日入会
2003-04年度 会長
ポールハリス・フェロー
マルチプル 米山功労者

★国際ロータリー第 2750 地区出席報告 (4 月分) ★
District 2750 Membership Attendance Report April 2016

| G | クラブ名 | 例会 | 出席率 | 会 員 数 | | | G | クラブ名 | 例会 | 出席率 | 会 員 数 | | |
|-------------------|-----------|-------|-------|---------|--------|----------|-----------------|----------|----------------|-------|---------|--------|----|
| | | | | 15年7月1日 | 16年4月末 | 増減 | | | | | 15年7月1日 | 16年4月末 | 増減 |
| 千代田グループ | 東京南 | 4 | 63.16 | 205 | 204 | -1 | 多摩南グループ | 東京八王子 | 4 | 83.33 | 60 | 60 | 0 |
| | 東京芝 | 4 | 91.03 | 63 | 60 | -3 | | 東京町田 | 4 | 64.65 | 54 | 55 | 1 |
| | 東京新橋 | 4 | 88.16 | 55 | 58 | 3 | | 東京日野 | 4 | 79.08 | 37 | 39 | 2 |
| | 東京赤坂 | 4 | 70.00 | 42 | 53 | 11 | | 東京八王子西 | 3 | 82.95 | 83 | 97 | 14 |
| | 東京みなと | 4 | 74.96 | 39 | 41 | 2 | | 東京町田・中 | 4 | 82.46 | 31 | 29 | -2 |
| | 東京レインボー | 3 | 68.25 | 22 | 21 | -1 | | 東京八王子東 | 4 | 96.05 | 21 | 19 | -2 |
| | 東京麻布 | 4 | 70.05 | 19 | 18 | -1 | | 東京八王子南 | 4 | 89.40 | 70 | 75 | 5 |
| | 東京グローバル | 4 | 43.00 | 26 | 25 | -1 | | 東京町田サルビア | 4 | 80.06 | 30 | 29 | -1 |
| | 東京サンライズ汐留 | 4 | 69.40 | 19 | 21 | 2 | | 東京飛火野 | 4 | 89.81 | 25 | 27 | 2 |
| | 東京銀座 | 3 | 74.61 | 170 | 175 | 5 | | 東京町田東 | 4 | 79.00 | 27 | 26 | -1 |
| 銀座・日本橋グループ | 東京日本橋 | 4 | 77.18 | 207 | 218 | 11 | 東京八王子北 | 4 | 86.84 | 37 | 38 | 1 | |
| | 東京築地 | 4 | 86.53 | 67 | 72 | 5 | 東京立川 | 5 | 93.90 | 104 | 106 | 2 | |
| | 東京日本橋東 | 4 | 83.18 | 48 | 52 | 4 | 東京小金井 | 3 | 95.25 | 36 | 37 | 1 | |
| | 東京中央 | 4 | 64.93 | 204 | 213 | 9 | 東京国分寺 | 4 | 94.52 | 45 | 48 | 3 | |
| | 東京日本橋西 | 4 | 87.86 | 41 | 43 | 2 | 東京三鷹 | 4 | 72.84 | 38 | 44 | 6 | |
| | 東京銀座新 | 4 | 80.68 | 73 | 78 | 5 | 東京昭島 | 4 | 79.07 | 48 | 48 | 0 | |
| | 東京シティ日本橋 | 4 | 78.13 | 41 | 40 | -1 | 東京国立 | 4 | 98.75 | 46 | 46 | 0 | |
| | 東京中央新 | 4 | 61.00 | 43 | 45 | 2 | 東京立川こぶし | 4 | 90.14 | 90 | 88 | -2 | |
| | 東京あけぼの | 5 | 71.00 | 20 | 22 | 2 | 東京井の頭 | 4 | 77.20 | 25 | 27 | 2 | |
| | 東京山王 | 4 | 75.90 | 27 | 31 | 4 | 東京昭島中央 | 4 | 73.00 | 45 | 48 | 3 | |
| 京浜グループ | 東京羽田 | 4 | 70.20 | 40 | 49 | 9 | 東京武蔵国分寺 | 4 | 85.00 | 43 | 42 | -1 | |
| | 東京品川 | 4 | 81.09 | 49 | 49 | 0 | 東京小金井さくら | 4 | 71.14 | 26 | 26 | 0 | |
| | 東京大森 | 4 | 92.40 | 40 | 44 | 4 | 東京国立白うめ | 4 | 90.41 | 18 | 20 | 2 | |
| | 東京品川中央 | 4 | 88.93 | 46 | 44 | -2 | 東京ピースウィングE | 4 | 60.00 | 24 | 24 | 0 | |
| | 東京大井 | 3 | 70.90 | 17 | 16 | -1 | 東京府中 | 4 | 91.76 | 57 | 56 | -1 | |
| | 東京田園調布 | 4 | 79.27 | 45 | 47 | 2 | 東京調布 | 4 | 76.40 | 61 | 63 | 2 | |
| | 東京港南マリーン | 3 | 72.46 | 25 | 26 | 1 | 東京多摩 | 4 | 69.21 | 36 | 36 | 0 | |
| | 東京大崎 | 4 | 84.07 | 22 | 23 | 1 | 東京多摩せいせき衛星 | 4 | 46.43 | (16) | (14) | (-2) | |
| | 東京蒲田 | 4 | 92.53 | 61 | 63 | 2 | 東京柏江 | 4 | 74.41 | 24 | 24 | 0 | |
| | 東京京浜 | 3 | 70.21 | 24 | 28 | 4 | 東京稲城 | 4 | 78.87 | 27 | 29 | 2 | |
| 山の手東グループ | 東京田園調布緑 | 3 | 80.30 | 28 | 30 | 2 | 東京武蔵府中 | 2 | 85.20 | 47 | 45 | -2 | |
| | 東京白金 | 4 | 80.20 | 26 | 29 | 3 | 東京たまがわ | 4 | 75.00 | 25 | 23 | -2 | |
| | 東京高輪 | 4 | 71.25 | 21 | 21 | 0 | 東京多摩グリーン | 4 | 86.93 | 31 | 31 | 0 | |
| | 東京西 | 4 | 75.18 | 176 | 178 | 2 | 東京調布むらさき | 4 | 89.45 | 74 | 76 | 2 | |
| | 東京城西 | 3 | 72.95 | 72 | 72 | 0 | 東京iシティ | 4 | 82.89 | 19 | 20 | 1 | |
| | 東京西南 | 4 | 76.28 | 53 | 53 | 0 | Guam | | | 71 | 68 | -3 | |
| | 東京原宿 | 4 | 65.79 | 20 | 19 | -1 | Saipan | | | 40 | 46 | 6 | |
| | 東京杉並 | 4 | 75.90 | 34 | 36 | 2 | Tumon Bay | 4 | 51.74 | 77 | 71 | -6 | |
| | 東京神宮 | 3 | 76.19 | 32 | 35 | 3 | Northern Guam | | | 25 | 26 | 1 | |
| | 東京恵比寿 | 4 | 81.20 | 109 | 113 | 4 | Pohnpei | 4 | 44.00 | 13 | 13 | 0 | |
| 山の手西グループ | 東京広尾 | 4 | 68.42 | 17 | 19 | 2 | Palau | 4 | 70.00 | 15 | 18 | 3 | |
| | 東京渋谷 | 4 | 76.03 | 37 | 39 | 2 | Guam Sunrise | | | 18 | 18 | 0 | |
| | 東京六本木 | 4 | 77.00 | 51 | 50 | -1 | Truk Lagoon | | | 8 | 13 | 5 | |
| | 東京愛宕 | 4 | 81.40 | 29 | 31 | 2 | Pago Bay Guam E | | | 16 | 16 | 0 | |
| | 東京世田谷 | 3 | 87.66 | 53 | 55 | 2 | 国内 91 クラブ計 | | | 4,450 | 4,595 | 145 | |
| | 東京目黒 | 3 | 73.87 | 35 | 40 | 5 | 地区 100 クラブ計 | | | 4,733 | 4,884 | 151 | |
| | 東京成城 | 4 | 79.05 | 22 | 20 | -2 | 千代田グループ | 70.89 | 多摩南グループ | 83.06 | | | |
| | 東京世田谷南 | 3 | 81.30 | 91 | 92 | 1 | 銀座・日本橋グループ | 76.45 | 多摩中グループ | 83.17 | | | |
| | 東京城南 | 4 | 46.70 | 38 | 34 | -4 | 京浜グループ | 79.52 | 多摩東グループ | 81.01 | | | |
| | 東京山の手 | 3 | 86.85 | 63 | 64 | 1 | 山の手東グループ | 75.12 | PBグループ | | | | |
| 東京成城新 | 3 | 68.00 | 38 | 38 | 0 | 山の手西グループ | 76.96 | 平均出席率 | 78.51 (PBGを除く) | | | | |
| 東京青山 | 3 | 73.53 | 24 | 24 | 0 | | | | | | | | |
| 東京自由が丘 | 4 | 87.08 | 18 | 18 | 0 | | | | | | | | |
| 東京世田谷中央 | 5 | 93.75 | 16 | 17 | 1 | | | | | | | | |
| 東京米山友愛 | 4 | 63.00 | 30 | 31 | 1 | | | | | | | | |
| 東京米山ロータリーEクラブ2750 | 5 | 91.72 | 30 | 29 | -1 | | | | | | | | |
| 東京代官山 | 4 | 68.00 | 23 | 28 | 5 | | | | | | | | |

編集後記

今号は、地区代表幹事、各グループ ガバナー補佐、各常設委員会 委員長の「一年を振り返って」、そして、5月28日～6月1日まで韓国・ソウルで開催されました「国際大会」の様子を報告した記事を掲載しておりますので、是非、ご一読いただければ幸いです。

水野年度(2015-16年度)のガバナー月信も、今号をもって最終号となりました。この一年間、皆様のご協力により発刊できましたことを、心より感謝申し上げます。

2015-16 年度 ガバナー月信・年次報告委員会 一同

国際ロータリー第 2750 地区 2015-16 年度 ガバナー 水野 功

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2015-16 Governor Mizuno Isao

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 水野 功 (2015-16) Mizuno Isao 2015

編集・制作：ガバナー月信・年次報告委員会 委員長 西澤 宗英 副委員長 石井 義興 小高 俊明 委員 アンドリュウ・ウォン 木村 清信

山見 真弘 松林 智紀 竹平 時彦 矢吹 啓 畑中 義雄 堀口 昇治 織田 ゆり子 宿谷 勝巳 沢崎 和久 森田 貢士 河村 勝久 坂場 一隆

ホームページアドレス

<http://ri2750.org>